

令和2年度事業計画

特別養護老人ホーム ヒルズ勝沼

【基本理念】

『凛として襟を正し、入居者様の立場になり共感 (empathy) する』を基本理念とし、基本的な介護を大切にしていき、質の高いケアを目指していく。また、入居者、家族、施設スタッフ、地域の方々の暖かいぬくもりの中で安心して暮らせる生活環境を整備し、入居の方々が喜びや生きがいを感じながら、自分らしく安心して歳を重ねることが出来る施設づくりをめざす。

- 行動指針
 - 丁寧な言葉かけと心地よい抑揚での会話に心がけ、年功者への敬意を払った態度で対応する
 - 笑顔であいさつをし、心地よいと感じられる態度で振る舞う
 - 相手の立場にたった思いやりの心で対応し、相手の気持ちに寄り添い共感する
 - 身体機能・精神機能の維持を図るとともに、自分らしい生活が送れるように自立支援をする

【運営方針】

- 社会福祉法人としての意義や役割を理解した上で、法令を遵守するとともに、業務に関する規程やマニュアル・秩序を遵守し信頼性を損なわない健全な経営・運営を行う。また、地域や家庭との結びつきを重視した運営に努める。
- 入居者の意向や家族の意向を十分に配慮し、入居者の立場に立ったサービスに努め、職員自らが『自分の家族を入居させたい・自分が入居したい』と思える様な施設づくりをめざす。
- 職員のモチベーションの向上をはかり、介護福祉の未来を担えるよう努力するとともに、入居者に適切なサービスの提供、入居者がにこやかで、個性豊かに生活を送って頂けるよう『入居者本位のサービス』をめざす。
- ユニットの特徴を活かしながら、その人らしく充実した日常や、安心して生活が送れるように努めるとともに、個々のプライバシーを配慮し、入居者が今まで社会で築き上げて来た尊厳を守り大切にしていける。

【健康管理】

要介護3以上の入居が義務付けられ、身体面・精神面等重度の方の入居が多くなってきた事を考慮しながら、日々の変化に早く気付き、看護・介護、嘱託医・協力病院と連携を図り、早めに対応していくことで長期入院による、ADLの低下につながらない様に努め、安心して生活できるようにしていく。

看護・介護職員の毎日の声掛け等による日々の健康状態の把握、医学的管理、ADLの向上等を中心としたケアサービスを行っていく。

【口腔ケア】

協力歯科医院や歯科衛生士と連携を図りながら、専門的口腔ケアや経口維持加算の算定を行い、日々の口腔ケアのなかで、入居者の口腔内の衛生や嚥下機能の向上・食べる喜び・誤嚥性肺炎のリスクの軽減・認知症予防及び改善等に繋げていく。また、施設内・施設外研修に参加していくことで、口腔ケアの技術・知識の向上に努めていく。

【栄養管理】

食事は楽しみの一つであり、個別ケアの大切さが求められるため、栄養マネジメント実施により心身ともに健康的な栄養管理に努めていく。陶器の銘々皿で配膳し、より家庭的な雰囲気作りや、フロアごとのセレクトメニューによるバイキング形式などメニューや提供方法の工夫をしていく。個々に嗜好調査を取り入れ入居者に、より喜んでもらえる幅広い食事提供を行ない、ユニットでのお菓子作りや簡単な調理等を取り入れながら、作る楽しみや食べる楽しみを提供していく。

【感染症対策】

施設は、感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、感染が広がりやすい状況にあることを認識し、感染症・食中毒を予防する体制を整備していく。

職員が感染することで、適切な人員配置やサービスの提供が困難になることから、日頃より体調管理に努め、感染予防委員会の委員が中心となり、日頃より温度・湿度を適切に保つ事や、次亜塩素酸ナトリウムを使用しての清掃を行なうなどの対策を実施していく。また、発生時には看護職員や感染予防委員会が中心となり、マニュアルに沿った迅速で適切な対応に努めていく。

職員教育として、少なくとも年2回感染予防に関する施設内研修等を開催し(施設外の研修にも参加)、感染に対する知識と対処方法の習得を図っていく。

【事故防止の取り組み】

入居者一人一人の行動を把握し、何が事故やアクシデントに結び付くのか情報の共有をはかるとともに、事故防止委員会が中心となり、事故再発防止対策の検討及び、危険予知トレーニング研修等による職員の意識向上と環境整備を行なっていく。

【身体拘束・虐待ゼロの取り組み】

身体拘束は、人権擁護の観点から問題があるだけでなく、入居者の QOL を根本から損なう危険性を有している。身体拘束によって、身体機能が低下し寝たきりにつながる恐れがあることや意欲低下、また拘束を外そうとしての重大事故が起こる可能性を踏まえ、マニュアルに沿った取り組みを行い、身体拘束ゼロを維持するよう努めていく。しかし、緊急やむを得ない場合においては、管理者・身体拘束禁止委員会の委員が中心となり、慎重に協議し、家族の同意のもと期間を定め行うものとする。

身体拘束も虐待につながることや、虐待について職員一人一人が理解するとともに、職員のストレス軽減を個人や施設全体で行っていきながら虐待防止につなげていく。

【家族交流】

入居者にとって、快適な生活の場とするためには、家族の協力とかかわりは欠かすことが出来ない。家族と離れて生活することから生じる精神的・心理的不安の解消に努める。入居者及び家族が安心して生活できるようこまめに連絡をとり、家族交流を援助・支援していく。また、月に1度『ヒルズ通信』を発行し、日々の様子や施設内行事のご案内や、ユニット、フロアでのレクリエーションを企画することで、面会及びレクリエーションへの参加の機会が多くなるような働きかけをしていく。

【地域社会との交流】

入居者の多くが、外出の機会が少ないことを考慮し、各種関係団体（ボランティア・近隣の小学校・保育園等）の協力を得て、各種行事に参加して頂きながら地域との交流を推進していく。ボランティア活動をして頂くだけではなく、ヒルズとして地域社会に貢献出来るボランティア活動に参加する機会を作っていく。

また、外出の際には、地域と触れあえる様に、公共施設を利用し社会との交流を推進していく。

施設の情報発信の一環として、ホームページを活用し、ご家族・地域社会・就労希望者等の方々に、当施設がより身近なものになるように情報発信していく。

個々の要望に出来るだけ答えていきながら、お買い物や食事会等で外出の機会を設け地域とのふれあいだけでなく、個別ケアへと繋げていく。

【人材確保・育成】

介護福祉施設ではマンパワーが必要不可欠である事や、入居者へのきめ細かいサービスを提供するため、人材の確保・育成が必要である。職員一人一人が必要な知識・技術を習得出来るよう、施設外の研修に参加する機会を提供し、高齢者介護の専門職としての資質の向上に努めるとともに、職員のモチベーションを低下させないよう、精神面のフォローも行っていく。

施設内研修では、職員自らが研修の立案・企画・開催に係わる事で、学習意欲の向上に繋げていく。同様に、新人職員の早期離職を防ぐ為、技術面・精神面も含めた育成を行っていく。

人材確保では、福祉専門職の育成の場として、実習生(学生・資格取得)を積極的に受け入れ就労に繋げていくとともに、人材紹介の活用や外国人介護労働者の受け入れも視野に入れていく。

定年の年齢を 65 歳、再雇用を 70 歳と変更し、安心して働き続けられるようにすると共に、介護ロボット導入で介護負担の軽減を図っていく。

【ターミナル（看取り）ケア】

『その人らしさ』を大切にし、ご本人の希望・ご家族の希望に出来る限り応えていきながら、ご本人やご家族とコミュニケーションを密にとり、安心した日々、穏やかな日々を送って頂けるように他職種協働で関わりをもっていく。「ヒルズに入居して良かった」と思ってもらえるよう『寄り添うケア』をしていく。

【看護職員と介護職員の連携による医療的ケア】

国の方針により、介護職員による口腔内のたんの吸引及び胃ろう準備等が可能になる。当法人においても一定の要件を満たした(国のガイドライン及び施設指針)介護職員による医療的ケアを行っていく。たん吸引等のための 50 時間の外部研修へも積極的に参加を促し、1 人でも多くの介護職員が、確実に手技が出来るように看護職員と連携を取りながら技術向上へ繋げていく。

【介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算】

『処遇改善加算 I』『特定処遇改善加算 I』を引き続き申請していく。
処遇改善加算はキャリアアップの意欲向上と、入居者へ質の高いサービスの提供を求められている事を十分に理解して、専門職としての意識向上及び技術の向上に努めていく。

新たに開設された特定処遇改善加算を申請し、介護職以外の処遇改善を図っていく。

【短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業】

空床が出た際には、地域居宅事業所への情報提供やグループ施設と調整をはかりながら、出来るだけ空床利用して頂けるようにする。

【防災対策】

災害時に必要な物品を順次整備していく。また、ライフラインが止まった際にも安心して生活して頂けるように、自家発電等の整備を行うとともに、通常の給食提供が出来なくなった事を想定した炊き出し訓練等も行う。あらゆる災害を想定し、災害時の出勤人員の確保、就労時必要な備蓄等の準備をしていく。

【介護体制・介護補助具】

要介護度3以上の入居となる中、入居者のADLの低下に伴い、介護量が増えてきている。少人数でも介護の質を落とさずケアが出来る様に、安心・安全にケアが出来る備品や職員の負担を軽減出来る介護補助用具の整備・購入をしていく。

『介護技能実習制度』の活用や、元気なシルバーの雇用等を検討し人員不足にならない様にしていく。

【令和2年度 施設全体行事予定】

- 7月 七夕
- 8月 お盆の法要（13日～15日のうち1日）
- 9月 秋祭・敬老会（12日・土）
- 12月 クリスマス会（18日・金）
- 1月 もちつき会（6日・水）
- 2月 節分・豆まき（3日・水）
- 3月 ひな祭り

- バスハイク・・・春のお花見の頃。秋や紅葉の頃。
- 誕生会・・・その月の誕生者をユニットの入居者と職員で祝う。
- ヒルズ喫茶・・・月2回地域交流スペースにて開催し、手作りおやつやお茶を味わいながら、入居者同士の交流を深め、和やかな時間を過ごして頂く。
- 家族会食・・・誕生月の入居者とご家族での昼食会を楽しんで頂きながら、他家族との交流を深めていく。
- フロアセレクト・・・給食委員と管理栄養士が中心となり、入居者の要望をふまえ、楽しい食事の時間になるよう工夫していく。

- 夜 喫 茶・・・ 希望者が参加し、お茶、ジュース、ノンアルコールのビールやカクテル、日本酒、ビール等の飲み物に、おでん、漬物、お菓子、果物等の入居者人気のおつまみを用意し、カラオケやおしゃべり等で入居者同士の交流を深め、楽しい時間を過ごして頂く

【ユニット目標・活動】

<西町1丁目>

- 目標・・・
- 気持ちに寄り添い、安全に穏やかに過ごして頂ける環境を作る
 - 個々のケアプランを理解し、その方に合ったケアを行う

活動・・・

| | | | |
|----|-------------------|-----|--------------|
| 4月 | お花見ドライブ | 10月 | 紅葉ドライブ |
| 5月 | デザート作り | 11月 | ゲーム |
| 6月 | 外気浴 | 12月 | クリスマスデザート作り |
| 7月 | 流しそうめん 寒天ゼリー作り | 1月 | カラオケ |
| 8月 | スイカ割り | 2月 | バレンタインデザート作り |
| 9月 | カラオケ | 3月 | 外気浴 |

<西町2丁目>

- 目標・・・
- 1人1人の生活リズムを把握し、その人に合わせたケアを行う

活動・・・

| | | | |
|----|------------|-----|------------|
| 4月 | 散歩 | 10月 | カラオケ |
| 5月 | ドライブ | 11月 | 紅葉 |
| 6月 | カラオケ又はドライブ | 12月 | クリスマスケーキ作り |
| 7月 | 七夕、流しそうめん | 1月 | 正月ゲーム、書き初め |
| 8月 | かき氷、スイカ割り | 2月 | チョコ作り |
| 9月 | お茶会 | 3月 | ひな祭り |

<東町2丁目>

- 目標・・・
- 入居者目線のケア、職員目線のケアの区別を理解し、今できる入居者様目線のケアをしていく

- 家族とのかかわりを増やしていく

| | | |
|-------|----------------|--------------|
| 活動・・・ | 4月 散歩 | 10月 カラオケ |
| | 5月 ドライブ | 11月 紅葉ドライブ |
| | 6月 カラオケ 又はドライブ | 12月 ケーキ作り |
| | 7月 七夕、流しそうめん | 1月 正月ゲーム、書初め |
| | 8月 かき氷、スイカ割り | 2月 チョコ作り |
| | 9月 お茶会 又はドライブ | 3月 ひな祭り |

<西町3丁目>

目標・・・● ユニットケアをするにあたり、個々のケアを見直したり、入居者様の日常を大切にしていける様にケアを行っていく

| | | |
|-------|-----------|-----------------|
| 活動・・・ | 4月 ドライブ | 10月 カラオケ |
| | 5月 ドライブ | 11月 クリスマス飾りづくり |
| | 6月 七夕かざり | 12月 クリスマスケーキづくり |
| | 7月 流しそうめん | 1月 正月遊び |
| | 8月 スイカわり | 2月 音楽鑑賞会 |
| | 9月 紅葉ドライブ | 3月 ひなまつりレク |

<東町3丁目>

目標・・・● ユニットケアをするにあたり、個々のケアを見直したり、入居者様の日常を大切にしていける様にケアを行っていく

| | | |
|-------|-----------|-----------------|
| 活動・・・ | 4月 ドライブ | 10月 カラオケ |
| | 5月 ドライブ | 11月 クリスマス飾りづくり |
| | 6月 七夕かざり | 12月 クリスマスケーキづくり |
| | 7月 流しそうめん | 1月 正月遊び |
| | 8月 スイカわり | 2月 音楽鑑賞会 |
| | 9月 紅葉ドライブ | 3月 ひなまつりレク |

<西町4丁目>

目標・・・● 個別ケアの確立

- 少人数で外出する

| | | | | |
|-------|----|--------|-----|------------|
| 活動・・・ | 4月 | 外出 | 10月 | 外出 |
| | 5月 | 外出 | 11月 | お茶会（家族も一緒） |
| | 6月 | 外出 | 12月 | クリスマス会 |
| | 7月 | 流しそうめん | 1月 | 新年会 |
| | 8月 | すいかわり | 2月 | チョコ作り |
| | 9月 | 外出 | 3月 | おはぎ作り |

<東町4丁目>

- 目標・・・
- 個別ケアの確立
 - 少人数で外出する

| | | | | |
|-------|----|--------|-----|------------|
| 活動・・・ | 4月 | 外出 | 10月 | 外出 |
| | 5月 | 外出 | 11月 | お茶会（家族も一緒） |
| | 6月 | 外出 | 12月 | クリスマス会 |
| | 7月 | 流しそうめん | 1月 | 新年会 |
| | 8月 | すいかわり | 2月 | チョコ作り |
| | 9月 | 外出 | 3月 | おはぎ作り |

【その他】

- 消防訓練
 - 消防訓練 年2回
 - 避難誘導・通報・消火訓練・炊き出し訓練
 - 不審者対応（警備会社依頼）
- 職員会議
 - 業務全般・処遇 月1回開催
- 各種委員会
 - 3ヶ月に1～3回開催
- 職員研修
 - 施設外研修 随時
 - 施設内研修 感染症予防・事故防止・高齢者権利擁護 他
 - 伝達・回覧 随時
 - 勉強会 随時
 - 施設内事例発表会